

平成二十五年度 夏季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「夏」

期間 平成二十五年五月一日～平成二十五年七月末

投句数 二、六七七句

特選三句

天

鎌倉の蚊を叩きたき座禅かな

神奈川県横浜市戸塚区

高橋 央尚

地

灯台に灯の入る頃や七変化

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

人

矢倉墓それぞれにある五月闇

東京都町田市

竹内 弘

入選句

一般の部

葉桜の天盖つづく段葛

神奈川県鎌倉市

池田 達郎

紫陽花の肩ごしに見る由比ヶ浜

東京都新宿区

太田 薫

老鶯の絶え間なく鳴く五山かな

神奈川県横浜市南区

奥村 文子

二の鳥居三の鳥居と灼くるかな

東京都町田市

笠原 祥郎

鎌倉の路地の親しや古簾

神奈川県横浜市泉区

糸谷 京子

満目の緑に修す栄西忌

神奈川県逗子市

佐藤 信子

山門を通り抜けたる若葉風

岐阜県本巣市

鹿野 寿美子

花満ちし白雲木に谷戸の風

神奈川県鎌倉市

長尾 俊郎

海見ゆる文学館やばらの風

埼玉県川口市

中島 順子

片蔭をゆく禅僧の迅さかな

神奈川県三浦市

秦 孝浩

緑の日少年少女頼もしく

神奈川県鎌倉市

針谷 道子

がんばらうのリユックの文字や遠足見

神奈川県横浜市神奈川区

藤川 三枝子

文学館先づはバラ園見て回る

埼玉県狭山市

古谷 彰宏

螢火の群れてリズムの生まれけり

神奈川県横浜市戸塚区

守安 雄介

大仏の背山どよもす青嵐

神奈川県横浜市旭区

柳沢 栄蔵

(順不同)

入選句

子どもの部

森の中時間を止めるせみのから

神奈川県鎌倉市

岡

大悟

源氏山耳をすませば蝉の声

千葉県木更津市

片野

真雪子

春の空くもがふわふわとんでいる

埼玉県川越市

軽部

漣音

あじさいがきれいにさいたあめのなか

埼玉県比企郡小川町

川田

一稀

見上げれば大仏光る夏の月

埼玉県川越市

神田

元樹

江ノ電のガタングタンと夏近し

埼玉県川越市

サルハン・マイケル

あつたんだこんなところにもあじさいが

千葉県木更津市

高橋

杏

しだれ桜時宗公のお命日

東京都国分寺市

豊田

奏子

大仏も汗かきそうな真昼かな

埼玉県川越市

永田

萌

ひらひらと光を抱いて散る桜

神奈川県横浜市港南区

星野

友香

江ノ電や雷鳴ひびく中走る

埼玉県川越市

堀江 陸

円覚寺川に写つた花火かな

埼玉県川越市

松本 美憂

ほととぎすきれいなこえでなっている

神奈川県川崎市多摩区

宮下 真子

しんりよくがいっぱいあるよ円覚寺

神奈川県横須賀市

山本 杏

こどものひはじめてきたよえんがくじ

神奈川県横須賀市

山本 未晴

(順不同)